

1. 昭和63年度総会、講演会等

63年度のお茶の水地理学会総会・講演会は、連休明けの5月7日(土)に36名が参加し、一般教育2号館102室で行われた。

まず、仮議長の栗原尚子氏(16回生、母校助教授)の進行によって、中島直子氏(25回生)が議長に選出され議事に入った。初めに、総務の井内昇教授から開会の挨拶があり、62年度事業報告・同会計報告が行われ、いずれも承認された。続いて63年度事業計画案・予算案が説明されともに承認された。また、今年度は学会役員の改選の年にあたっており、後記の通り新役員が承認された。

引き続き午後2時30分過ぎから浅海重夫教授の司会により講演会が始まり、渡辺真紀子氏(27回生、本学大学院博士課程)の「古環境復元における火山灰土壌腐植層研究の意義」と、久保幸夫講師の「地理情報システムについて」と題する講演が行われ、活発な質疑の後、午後5時過ぎ散会した。

恒例の懇親会は、音羽通りのレストラン「グランドール」で、生憎の雨にもかかわらず26名が参加し、盛会であった。

2. 談話会

今年度の談話会は通算57回目に当たり、「地理教育の現状を考える」と題し、11月26日(土)午後2時から開かれた。今回は、小池とみ子氏(6回生・都立国立高校教諭)と室伏朝子氏(29回生・お茶の水女子大学附属中学校教諭)から話題が提供された。多数の方々に参加され、活発な意見交換が行われた。

小池氏からは、高校地理のカリキュラムの変遷について、選択制度・単位数等を高校別に調査した結果の報告があり、問題点が指摘された。

室伏氏は、小・中学校における地理教育研究の近年の傾向を、内容の面から述べられ、教育における地理の見直しを提言された。

会場では、参加者の多くが地理教育に関係されていることもあって、現場からの率直な意見を聞くことができ、内容的にも地理学の本質論にまで

触れ、大変有意義なものとなった。

討論が長時間にわたったため、ビアパーティに移ったのはすっかり日も暮れた頃だったが、和やかな歓談の一時を過ごした。

3. 見学会

今年度の見学会は、雨模様の天候にもかかわらず20名が参加して、4月7日(木)に行われた。今回は沼津市在住の村松晶子氏(21回生)と静岡県立韭山高校に勤務する山崎幸江氏(33回生)の案内で「沼津の都市開発と産業」をテーマに見学を進めた。

まず、晴天ならば沼津市の市街地を一望のもとに見渡せる愛鷹山少年自然の家に登り、沼津市の都市化の進展について説明を受けた。次いで、東名高速道路の沼津インターチェンジ開設によって増加したレストラン・土産物店が軒を連ねる通称「グルメ街道」を南下して、富士山の湧水として有名な柿田川水源、沼津市水道施設の拠点となっている泉水源地を見学した。

午後は、日本全体の54%が生産されている沼津市のあじの干物造りの現場を見学し、静岡県栽培漁業センターに向かった。200カイリ時代の到来によって沿岸漁業を見直そうとする目的のこの施設では、魚の種苗生産のための技術の開発と供給が行われ、県内のかん水養殖の中心的な役割も果たしている。北太平洋でのアメリカ・ソ連との漁業交渉が年々厳しさを増していく中で、「つくり育てる漁業」の重要性は今後高まっていくと思われる。

見学の最後は若山牧水記念館だった。高速道路の開通によって東京の影響圏に組み込まれ、ゴルフ場などのレジャー施設も多く立地する沼津市周辺の新旧の顔を見ることのできた一日だった。

4. ニュースレターの発行

No.13 1988年7月20日(4ページ)

No.14 1989年3月20日(4ページ)

5. その他

(1) 平成元年度総会、講演会、懇親会は5月13日(土)午後2時から開催の予定である。

(2) 役員（昭和63年度～平成元年度）

総務 式 正英

企画 浅海重夫, 内藤博夫, 和田明子, 瀬戸玲子, 小池とみ子, 向後紀代美, 二瓶直子, 生井沢幸子, 釘宮由佳理

編集 栗原尚子, 田宮兵衛, 阪口陽子, 武田むつみ, 村松晶子, 河井みどり, 渡辺真紀子, 室伏朝子, 小笠原洋子, 福嶋依子

会計 井内昇, 木曾久子, 厚井和子, 滝沢由美子, 新保彰子, 新井桂子

庶務 久保幸夫, 小野美代子, 東山セツ子, 金子晶子, 鈴木陽子, 中島直子, 菊池美千世, 新井桂子, 鈴木里美

(3) 会員数（昭和63年4月9日現在）

学部卒業生会員 377名

（卒業生532名）

大学院・専攻科修了会員 11名

（修了者20名）

大学院生会員 2名

教官会員 6名（卒業生を除く）

特別会員 20名

（会費免除会員5名を含む）

会 員 消 息



地理学教室動向

1. 教官の異動

三上岳彦助教授が都立大学に転任したことに伴い、田宮兵衛助教授が4月1日付けで着任した。田宮助教授の専門は自然地理学，特に気候学で，本学着任前は気象庁に勤務し，調査官として活躍してこられた。

内藤博夫助教授は，4月1日付けで教授に昇格

した。

2. 専任教官の担当科目

浅海重夫教授：地質学，日本地誌Ⅱ，地理学演習Ⅱ，土壤地理学，自然地理学実験Ⅱ，地学基礎実験（理学部共通），自然地理学特論Ⅱ（院），同演習Ⅰ（院）

式正英教授：地誌学，地形学Ⅰ，地理学演習Ⅲ，地誌学特論Ⅰ（院），同演習Ⅰ（院）
井内昇教授：集落地理学，地理学演習Ⅰ，都市地理学，人文地理学特論Ⅱ（院），同演習Ⅰ（院）
内藤博夫教授：地理学概説，経済地理学Ⅰ，日本地誌Ⅰ，地理学演習Ⅲ，経済地理学Ⅱ，地誌学特論Ⅳ（院），同演習Ⅱ（院）
栗原尚子助教授：外国地誌Ⅳ，地理学演習Ⅰ，社会地理学，地理調査法，人文地理学特論Ⅳ（院），同演習Ⅱ，地理学（一般）
田宮兵衛助教授：気候学Ⅰ，地理学演習Ⅱ，気候学Ⅱ，自然地理学実験Ⅰ，自然地理学特論Ⅳ（院），同演習Ⅱ（院）
久保幸夫講師：情報学Ⅰ（一般），同Ⅱ（一般），情報学演習（一般），情報学特講（学部共通），情報学講義演習（学部共通）

3. 非常勤講師とその担当科目

竹内啓一（一橋大学教授）：地理学概論
五條英司（日本大学教授）：地図学
鈴木陽子：地図学演習
菅野峰明（埼玉大学教授）：外国地誌Ⅲ
向後紀代美：文化地理学
武内和彦（東京大学助教授）：植物地理学
米倉伸之（東京大学助教授）：地形学Ⅱ
滝沢由美子：写真地理学
和田明子（都留文科大学教授）：地理学特講Ⅰ
二瓶直子：地理学特講Ⅲ
平戸幹夫（拓殖大学教授）：人文地理学特論Ⅴ
浜田竜之介（東京農工大学教授）：自然地理学特論Ⅴ
竹内淳彦（日本工業大学教授）：地誌学特論Ⅴ
江波戸昭（明治大学教授）：地理学（一般）
細野昭雄（筑波大学助教授）：国際関係論（一般）
川崎逸郎（千葉大学教授）：地学〔地鉱〕（一般）